

サクランボ特報

No.6

令和7年7月17日
JA中野市園芸課
JA中野市サクランボ部会

毎日お仕事お疲れ様です。園内を再度見回り樹冠の明るさを確保(夏季剪定及び秋季の誘引等)し、次年度の花芽と樹体の充実を図りましょう。併せて、樹体を健全に保つために速やかに追肥を実施してください。また、気温の上昇とともにハダ二類の発生密度が高まります。薬剤散布は間隔を空けすぎずに実施しましょう。*雨除けハウスにおいては、次年度の花芽充実・双子果対策として定期的に早朝、夕方の涼しい時間に20ミリを目安にかん水を実施して下さい。

共通注意事項

- ① 隣接園(特に今後収穫期を迎える作物)に飛散しないよう十分注意してください。
- ② 散布後は、タンク内や散布器具の洗浄を十分に行ない、薬液が残らないよう注意する。

薬剤散布

第9回(8月上中旬)対象病害虫 : 灰星病、炭そ病、幼果菌核病、

褐色せん孔病、ケムシ類、コスカシバ、ハマキムシ類(アメリカシロヒトリ)

散布時期	・8月上中旬 (第8回定期散布から14日後)	
散布薬剤	水100ℓ当り	【定期散布】散布日 ____月 ____日(____)
		散布量 _____ ℓ
	展着剤(ハイテンパワー)	10ml
	トレノックスフロアブル	200ml(21日前、5回)
	サムコルフロアブル10	40ml(前日、3回)
散布量	600ℓ/10a	
注意事項	①【ハダ二類対策】 コロマイト乳剤の1,000倍(7日前、1回)を加用する。	

*カイガラムシ類対策(特別散布:8月下旬)

カイガラムシ類の発生園は、アプロードフロアブル 1,000倍(収穫7日前、2回)を散布する。

栽培日誌の完全記帳、最終防除終了後までに提出をお願いします。

問合先:園芸課・担当 横田(080-5147-8257)